

関連項目：検証改善プラン①、教育活動プラン③、⑤、⑥

自分の生活を見つめ、主体的に生活をつくる

目的

本校の生徒指導の重点は「あいさつ・掃除・整とん」です。これは、本校の児童の実態調査結果から出された課題です。そこで、これらの課題を解決するために、指導の重点とし、教職員や全校児童で自分たちの生活を見つめながら、主体的に生活を改善していく実践に取り組みました。

内容

● 児童・保護者・教職員のアンケート調査の実施

調査結果から、生徒指導委員会で学校のよさや課題、児童の実態や課題、その変容等についての対応や改善策を検討し、職員会で周知・共通理解して取り組みました。

【あいさつについての課題】

- ・ 自分から進んであいさつができていない。
- ・ 元気よく大きな声でできていない。

【掃除についての課題】

- ・ 静かに一生懸命掃除ができていない。

【整とん】

- ・ トイレのスリッパがきちんと並べられない。
- ・ 使った物の後片づけができていない。

そこで、児童会と連携して、児童の実態（アンケート調査結果）や課題、その解決策について、全校朝会で児童会から全校生にお知らせをしました。

● 「さわやかな日」の実施（毎週水曜日）

あいさつや整とんについての課題の解決策として、毎週水曜日を「さわやかな日」として、全校生・全教職員が意識して「さわやかな一日にしよう」という取り組みを実施しました。

そのための具体的な手立てが「あいさつキッズ」募集の呼びかけです。これは、児童会からの発案で、あいさつのお手本となる児童を募集し、校門のところに立ってあいさつ運動をするという取り組みです。この呼びかけに全学級が賛同し、全学級の代表者が

毎週交代であいさつ運動をしています。トイレのスリッパの整とんに関しては、美化委員会の児童がポスター等の掲示物で働きかけ、スリッパの整とんの様子を定期的に調べています。

● 「もくもくの日」の実施（毎週木曜日）

掃除についての課題の解決策として、毎週木曜日を「もくもくの日」として、全校生・全教職員が意識して「黙って静かに掃除をしよう」という取り組みを実施しました。

これは、美化委員会から全校生へ呼びかけました。

● 取り組みの評価と改善策の実施

後期から始めたこれらの取り組みをふり返り、児童の実態の変容を検討しました。

児童の実践意欲をさらに高めるために、あいさつ運動のたすきを作成し、あいさつキッズがそのたすきを付けて、手本となるあいさつをするという自覚を持たせようと考えました。

また、「もくもくの日」の掃除をさらに意識するように、掃除時間中に音楽をかけ、その音楽を聴きながら黙って掃除をしようという気持ちを高めようと考え、これらの取り組みを実施しています。



成果

教師サイドからの指導だけでなく、児童会と連携して児童サイドからの働きかけが本校の生徒指導重点3項目を全校生に意識化させる、効果的に実践化に結びつけることができました。評価のPDCAサイクルを活用することで、次の改善策を早く実施することができました。